

補修部品を供給終了期間まで作り続けられますか？

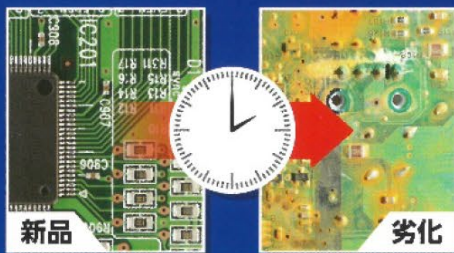
その製品は**赤字**ではありませんか？

## ！ 現行の補修部品生産プロセスの問題点

### 問題点① 品質

**在庫部品のはんだ性劣化・変色等による再検査・廃棄の発生。**

量産品の部品は長期保管することを前提に包装設計されていません。よって劣化する品質を保証するために一定期間ごとに信頼性試験を行う必要があります。保存期限を超えたり、信頼性試験に合格しなかったりした品物は廃棄する事になります。



### 問題点② 生産性・工場稼働率

**稼働率が低い古い機械を維持所有する必要があります。**

古い機械はメンテナンスコストが割高になります。また稼働率の低い生産設備があれば、工場稼働率も低下します。



### 問題点③ 生産継続性

**原料の生産中止リスクや生産技術伝承の困難。**

原料の発注が間歇的になると、ベンダーからの生産中止連絡が行き届かない事もあります。

また、定期的に生産していない品目は、生産技術・ノウハウの伝承が困難になります。



### 問題点④ コスト

**生産コストは補修部品>>大量生産品。**

少量生産で高くなる製造コスト、売り切れない分の廃棄コスト、再検査費用、機械のメンテナンス費用。補修部品の継続生産は、大量生産時の製造コストとはかけ離れています。

これを最も生産量が多くなる時に下がりきった価格で販売すれば、赤字は膨らむばかりです。



\*写真はイメージです。